

## ●市へ農業施策に関する意見書を提出しました

令和8年1月7日、各地域や農業者の意見をまとめた「農業施策に関する意見書」を市長へ提出しました。意見の内容として、「担い手への農地の集積・集約化」「兼業農家・専業農家の農業経営施策支援」「その他農業に関すること」を3本の柱とした全16件の具体的な意見を提出しています。

無秩序な開発により農業生産性が低下している現状を踏まえ、農業を守るためという観点で市長と意見交換を行いました。また、農業をしていくうえでの現場レベルの悩みを知っていただける機会となりました。

農業委員会としては、本意見が市の農業施策に少しでも良い影響を与えられることを願い、今後のみよし市の農政を見守っていききたいと考えています。



## ●会長あいさつ



みよし市農業委員会

会長 岩田 信男

日頃は、みよし市の農業委員会活動に御理解・御協力を頂き、誠にありがとうございます。昨年度から続いている米価の高騰は収まらず、水稻を題材とした報道を目にする機会が多くあり、ここ数年の中でも農業や農政への注目度は高まっているのではないのでしょうか。

本年度、農業委員会として、各地域や農業者の意見を取りまとめ、安心して営農できる環境をつくるため「農業施策に関する意見書」を市長へ提出しました。依然として農業者を取り巻く環境は厳しいものでありますが、少しでも農業を続けやすい環境を整備していくため、市農政部局との意見交換を続けて参ります。

今後、農地利用の最適化を進めるため、新規就農者への支援、担い手への農地集積、遊休農地の解消等、本市の農業の振興・発展のため励んで参ります。

## ●各種法律に基づく手続きについて

近年、農地所有者の高齢化や相続人に耕作能力がないことから土地活用の関心が高まりつつあります。

しかしながら農地の権利移動・設定や農地以外の目的での利用（転用）、田畑転換等には所定の手続きが必要です。手続きを経ず行った契約は無効であり、場合によっては法律により罰せられる可能性があります。

手続きの方法について詳しくはみよし市農業委員会事務局（市役所4階）窓口又は地元の農業委員・農地利用最適化推進委員へお尋ねください。